

FIVE VALUE ASSET

Monthly Newsletter

5バリュー通信 Vol.3

Date of issue: 2025.1.15

新年明けましておめでとうございます。5バリューアセットでございます。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。今月もマンスリーレターとして5バリュー通信をお届けいたします。マーケットニュースのご案内の他に、時事に関するコラムなどを月に1回お届けいたします。お楽しみいただけますと幸いです。

Interview メンバーの言葉

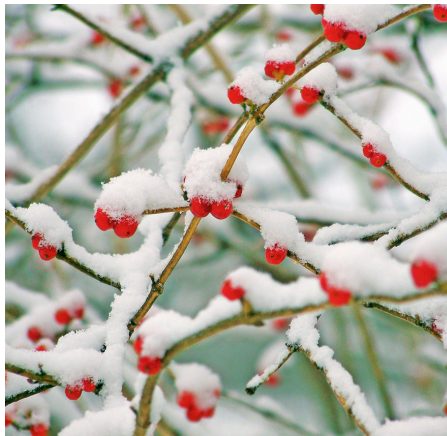


社長室長
青野 純一良

黒のラブラドルリトリバーと暮らしています。今までにジャーマンシェパードのほか6匹の保護犬、ご近所から依頼され引き取った犬、保護した2匹の野良猫がいましたが、保護犬のうち4匹は大阪府にある保護施設から譲り受けました。その施設は阪神淡路大震災後に英国人女性のE.O.さんが震災で行き場を失った犬猫の保護を目的に設立したものです。保護犬猫を譲り受ける際の審査は厳しく、幸せに暮らせる環境を提供できるか、命ある対象を託せる先であるかを十分に吟味されます。質を重視して、決して安易な譲渡はしないとのことでした。

このプロセスは5バリューを社是とする弊社のスタンスと似通っていると感じます。お客さまの大切なご資金を託していただくに相応しい存在であり続ける努力は惜しみませんし、適切な銘柄選択を経た債券運用によりお客さまが描かれる目標（幸せ）に少しでも近づいていただきたいと常に思っております。大切なお客様のために質の高いサービスをご提供し続けることは、私たちの使命であると考えております。

Topics 今月のトピックス



1 January 2025

- New Year's gift
- Forecast of 2025



- お年玉とお金の使い方
- 2025年のマーケット見通し

New Year's gift お年玉とお金の使い方

お正月と言えば、子供のころはお年玉をもらえることを楽しみにしていらっしやった方も多いかと思います。このお年玉の由来をご存知でしょうか。現在はお年玉とはお金を渡すことを言いますが、一説にはお餅をもらうことが起源だと言われています。古くからお正月とは年神様を家に迎えて、おもてなしをする行事とされています。この年神様は各家庭に赴き、その年の幸福や恵みをもたらしてくれるとされているのですが、同時に魂を分けてくださるとされてきました。数え年という考え方は、元旦が来るとみんな一斉に一つ年を取るというものですが、それは年神様から魂をいただくことを指しており、いただいた魂の数がお正月を迎えた回数=年齢となることに由来しているそうです。

さて、この年神様からいただく魂ですが、どのように分けてもらえるのかと言うと、年神様が依り代とするお餅を通して受け取るとされています。お正月には鏡餅を飾るご家庭も多いかと思います。こうした丸いお餅のことを餅玉と言います。ここに年神様が宿り、そのお餅を食べることで、魂を受け取るのです。鏡開きでは年神様がお正月の間依り代としていた鏡餅を割り、そのかけらを家の子供たちに分け与えることで1年の無事と健やかな成長を願ったそうです。ここで貰うお餅のかけらが、年神様の魂の宿ったお餅「御年魂」、「御年玉」と言われ、お年玉の起源とされています。お雑煮などでお餅を食べるのは、この御年魂をいただくという意味もあるのだそうです。この御年玉が、いつしか大人から子供にお金を渡す現在の形式に変わったと言われています。

親や祖父母、周囲の大人からももらえるお年玉は子供にとって大金です。きっと多くの子供たちがこのお金で何が出来るのか、どこに出かけようか、何を買おうか悩むことでしょう。お年玉やお小遣いは「お金とは何か・どのように使うべきか」という疑問をもたらす、子供たちが金融の仕組みに触れる大切なきっかけです。昨今、金融教育という言葉をよく聞くようになり、運用に限らずお金そのものへの考え方や視点、世の中のお金の流れを理解することへの関心が高まっています。金融や運用についての書籍は数多くありますが、どれから手を付けていいのか分からない、難解そうで躊躇してしまう方も多いかと思います。そこで、本日は田内学さんの『きみのお金は誰のため』をご紹介します。



田内学『きみのお金は誰のため ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会の仕組み」』(東洋経済、2023年10月刊)

日経新聞の「ベストセラーの裏側」(2023年12月2日付)で紹介されるほか、Amazonの一般・投資読み物のランキング1位を獲得(2023年12月時点)。大手書店でも話題書籍のコーナーに面出しで配置されるなど、大きな注目を集めている〈経済教養小説〉です。

本書は対話を中心とする小説形式なので、ジュニア層にも読みやすい内容となっています。経済や金融をテーマに扱っていますが、儲けるための指南書やハウトゥー本ではなく、経済やお金、そして投資について<考える>本という珍しい内容となっており、専門的な内容をわかりやすく、身近なものとして伝えたいという趣旨の本です。

本書の主人公であるとんかつ屋を営む家に生まれた男子中学生の優斗は、ひょんなことから外資系投資銀行に勤める女性と、資産家のボスと呼ばれる男性と巡り遇います。二人との会話を通して、優斗はお金とはそもそも何なのかを考え、お金を使う・儲けることの意味を探していきます。田内さんは2003年にゴールドマン・サックス証券に入社され、トレーダー業務に従事されていました。まさに登場人物の女性のように外資系投資銀行の中心にいた人物ですが、本書は金融業界を全く知らない中学生から見える世界を通して、お金について様々な視点や意見を投げかけてくれます。主人公と同じ中学生から大人まで、皆さま手に取りやすい内容となっております。弊社が運営する5バリュースクエアにて、本書について詳しいコラムを掲載しておりますので、ぜひそちらも併せてご覧ください。

【コラム】田内学『きみのお金は誰のため』(2023.12.19)



Forecast of 2025 2025年のマーケット見通し

昨年12月に公開しました『2025年のグローバル市況見通しと投資戦略（2024.12.16）』より、本年のマーケット見通しを解説いたします。2024年はマーケットを変動させる要因が米国経済指標とそれらに伴う金利政策に集中していました。ですが、2025年は相場を変動させる要因が時期によって変化していく1年となりそうです。その理由は、トランプ次期大統領の経済政策、税制改正が控えているためです。それらの施策が実現可能なタイミングは、年前半と後半で異なっているというのがポイントとなります。

まずは2025年前半の見通しから確認していきましょう。年明け後の1月は毎年新資金がマーケットに流入しやすい時期ということもあり、2024年に引き続き強いマーケット状況が予想されています。ただし、すでに株高・ドル高の水準ということもあり、1月末にあるFOMCを過ぎたあたりから、いったん様子を見られるような展開も想定されます。上半期は2024年に可決した予算案に沿った政策が進むこともあり、トランプ政権は前回任期同様、まずは国境や移民問題から着手する可能性が高いでしょう。FRBは2024年9月にこれまでのインフレ率重視から労働市場（失業率や賃上げ等）を重視した政策へと転換し、数回の利下げを実施してきました。しかし、インフレ率の低下も鈍化していることを受け、これ以上の利下げはややペースダウンが見込まれます。

対して年後半は、新年度（9月以降）の予算案が可決されるとともに、減税にむけた税制改正法案や、関税について具体的な動きが出てくる時期となるでしょう。実際に施行されるのは2026年となる可能性が高いのですが、マーケットはある程度先を見越して動きを見せると思われます。2026年以降の米国経済は税制改正により下支えされ、消費の拡大などインフレ率が反転上昇する可能性もあり、利下げの停止や、場合によっては小幅な利上げもあり得ると予想されます。



ここまでは米国経済を中心に話してきましたが、日本経済の見通しはどうなっているのでしょうか。米国ではインフレ終息から、金融正常化（金融引き締め）として利下げが実施されているのに対し、日本では長年のデフレとマイナス金利政策からの脱却を目指し、利上げを実施している段階にあります。日米で真逆の動きをしているように見えるこの流れは、米国で少し前に行われた金融政策が、日本の経済回復が米国より遅れたことで、数年のタイムラグを伴って現在の日本で実行されつつあるという状況です。

利上げについて日銀の植田総裁は、「経済・物価の見通しが想定通りに実現するなら、金融緩和の度合いを調整する方針」、つまりは利上げを継続するとしています。実質GDP、インフレ率、賃上げ等から国内経済は緩やかに回復傾向にあり、4月の春闘での実績（企業業績と賃金の好循環）が、利上げを維持・継続できるかの最終的な確認点となりそうです。ただし、ここにトランプ政権の施策は織り込まれていないため、米国の関税政策は日本にとっても重要な注目点となるでしょう。

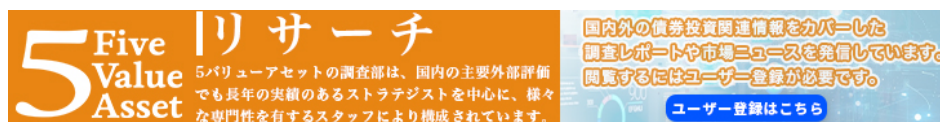
【投資戦略動画】2025年のグローバル市況見通しと投資戦略（2024.12.16）



Contents レポートとコラムのご案内

今月の5バリュー通信をお楽しみいただけましたでしょうか。最後に、本文でも引用しました弊社作成の様々なコンテンツについてご案内です。クレジット・アナリストによる詳細なマーケット見通しや、企業分析のレポート・動画は5バリューアセットのリサーチポータルより、様々な視点から金融や世界情勢に触れているコラムは5バリュースクエアより、ぜひこの機会にご覧ください。

【5バリューアセット リサーチポータル】



【5バリュースクエア】



Postscript 編集後記

先日、医師・医療ジャーナリスト森田洋之先生が提唱する『きずな貯金』について、社員全員で考える機会がありました。『きずな貯金』とは、地域の「繋がり・きずな」を重視し、それを「貯金」のように貯めていこうという取り組みで互いに信頼を深め、良好な関係を元にしたコミュニティを形成することこそが、人々の心身の健康の土台となる、という概念です。私の実家がある福島県は、東日本大震災で大きな被害を受けました。津波警報が出た際には、ご近所同士が声を掛け合い協力して避難したという話を聞きました。家族構成や健康状態をお互い分かっているからこそ、あのような非常時を乗り越えられたわけで、このような地域の繋がりは安心感を生み、非常に重要な強みだと思います。ますます高齢化が進む実家の町に帰ると、野菜や魚、手作り料理などの物々交換と情報交換が日常的に行われており、また、近所の子供が一人暮らしの母のためにおやつをもって遊びにきて話し相手になってくれる姿を見ると、感謝の気持ちでいっぱいになります。まずは身近なところから『きずな貯金』をコツコツ貯めて、それがいずれ世の中にも広まるよう祈りつつ、今年も一年、心身ともに健康に過ごしていきたいと思っております。(筆者：N)



5Value Asset Co., Ltd.



この通信は、当社ホームページに掲載するほか、当社セミナーにご参加いただいた方、業務提携をいただいた方、およびIFA口座をお申し込みいただいた方に送付しております。送付の停止・送付先変更をご希望の場合は、大変お手数ですが下記のメールにご連絡ください。送付の停止・送付先変更には、少々お時間をいただく場合がございます。

発行者：5バリューアセット株式会社 クライアント・リレーション

〒100-0004 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビル20F

newsletter@5valueasset.com

<https://5va.co.jp>

